

第402号

主な記事

1面	報道機関と懇談 受診実態調査アンケート①
2面	義歯の不快はケア次第、東北ブロック会議より 連載・岩手協会のキセキ②
3面	受診実態調査アンケート② 女医さんのひとり言、理事会だより
4面	医科新点数説明会・歯科点数検討会 のご案内



発行所

岩手県保険医協会

〒020-0034

盛岡市盛岡駅前通15-19

TEL 019-651-7341(代)

FAX 019-651-7374

発行人 箱石 勝見

http://www.i-hoken-i.org

購読料 年2,400円(〒別)

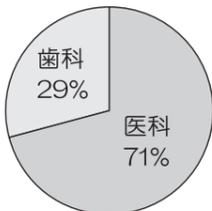
会員の購読料は会費に含まれています。

ご協力ありがとうございました

右記の報道機関との懇談の資料として、会員の先生方にアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。結果について、数回に渡り、お知らせいたします。

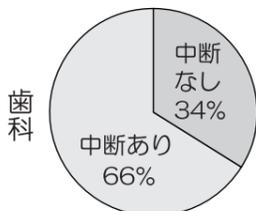
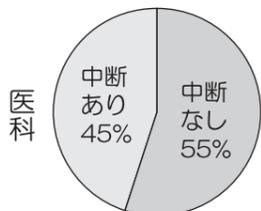
受診実態調査アンケート結果 ①

◆ 問1 医科・歯科どちらですか。

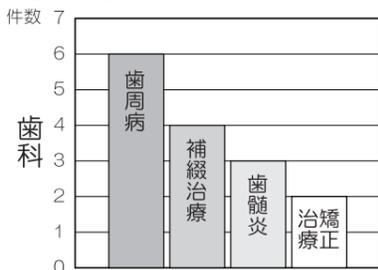
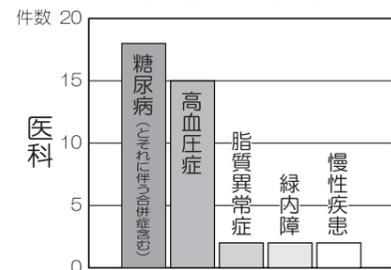


調査期間：2010年1月29日～2月12日
対象者：当協会のFAX登録会員 830名
回収率：13%

◆ 問2 最近、経済的理由と思われる治療の中断はありましたか。



中断があった場合、何例くらいで病名は何ですか



その他、アルコール性肝炎、胃潰瘍、潰瘍性大腸炎、狭心症、心身症、精神病、脳卒中、閉塞性動脈硬化症、変形性脊椎症、慢性心不全、白内障の手術希望取り消し、妊娠中絶、変形性関節症など1件づつあり。

その他、膠原病、糖尿病、歯周病、歯髄炎の根治、SPR等痛みなどない場合はやらない、虫歯と欠損の治療のみで歯周病の治療は中止となる例が多い(経済的理由が不明だが)、疼痛が消えれば来院しなくなる、現在、痛い部分のみでよいという方が多いなど1件づつあり。

※「中断はない」が...

去年の4-6月には多数の中断があった/突然受診しなくなった患者さんの中には、経済的理由の方もいると思われまます/病名と言うよりも、在宅のサービス導入を増やす事を断られたり、現在入っているサービスを減らして欲しいなど/治療前にすでに経済的理由でより良い治療が選択できないケースがある

☆3面に続く



懇談の様子

2月22日、盛岡市内のホテルで「貧困と医療」「後期高齢者医療制度」をテーマに報道機関との懇談を行い、報道機関からは7名、当協会からは役員11名と事務局が参加し

ました。箱石会長のあいさつ、自己紹介後、岩手県の貧困率が23・6%であること、会員の先生方から頂いた「受診抑制アンケート」の結果や後期高齢者医療制度・肺炎球菌ワクチンのこれまでの取り組みを小山田副会長が報告しました。テレビ岩手の遠藤氏からは肺炎球菌ワクチンについての質問があり、沢内村の予防活動にもつながる大変良い取り組みであり、ぜひ活動を広げて頂きたいと発言がありました。その他、医療費の増加の要因についてや医療の高度化はどこまですべきか、子どもの医療費助成制度について、

これらに対し役員は、医療の高度化については医師任せにせず、みんなで考えていく風土作りが必要であること、現物給付とすると県の補助金がカットされるとの補助金が課されていること、現物給付の方が病院としても事務量が減り、未収金の心配もなくなることを説明しました。また、医療崩壊と財源がない中、協会として何を軸に据えて活動を行っていききたいかなど、協会活動の核心に迫る

岩手の現状と償還払いになった経緯、現物給付になると病院としては厳しいのではないかなどのご質問がありました。

ご質問もありました。役員は、県民が平等に医療を受けられるように、今ある問題を提起し、県民の声でもって民意を作っていく地道な活動を進めていくのが一番効果的なのではないかと話しました。

- 報道機関・出席者 (敬称略・50音順)
- 岩手朝日テレビ 報道制作局長 佐々木 貴
 - 報道制作局 副部長 鈴木 敦
 - 岩手日報社 県政記者 熊谷 宏彰
 - NHK盛岡放送局 記者 岡田真理紗
 - 河北新報社盛岡総局 県政記者 亀山 貴裕
 - テレビ岩手 報道部長 遠藤 隆
 - 毎日新聞盛岡支局 記者 山口 圭一

ハイチ・チリ大地震 緊急復興支援募金のお願い

1月12日、ハイチで発生した大地震では20万人以上の方が亡くなり、被災者の方々は今なお、厳しい状況に置かれています。ハイチ地震から数ヶ月も経たず、2月27日にはチリでも大地震が発生しました。

当協会では、ハイチとチリの大地震について、復興支援金を会員の先生方に呼びかけ、国境なき医師団へお送りいたします。

危機に瀕した人々の元へ迅速に駆けつける国境なき医師団の活動は寄付によって支えられています。ひとりでも多くの命を救うために募金にご協力くださいますようお願い申し上げます。

(任意です。強制するものではありません。)

募金方法：専用の振込用紙をお送りいたしますので、郵便局にてお振込をお願いします。

諮問通り0・19%の改定を

民主党県連に要請

次期診療報酬は総枠プラス0・19%との公表でしたが、実際はプラス0・03%にとどまることを受けて、当協会は2月26日、民主党岩手県連に対し諮問通り0・19%引き上げるよう要請しました。佐々木順一幹事長、大宮惇幸副幹事長、工藤大輔政策調査会長、新居田弘文氏(いずれも民主党県連議員)が応対しました。



要請書を手渡す

政府は次期診療報酬を0・19%引き上げるとしていましたが、後発品のある先発品の薬価の引き下げで生じた財源(600億円・0・16%)を医療費には使わないとしています。今度の医科診療所の再診料は2点引き下げられ、200床未満の病院再診料を69点に引き上げ統一されましたが、現行の71点に統一をするためには220億円あれば可能であると厚生労働省は試算しています。浮いた600億円の財源を活用し、71点で統一するべきです。県連の佐々木幹事長は、趣旨は理解した。取り扱いは国會議員が検討することになるが、本部に要請したいと述べました。

銭のつづき

今年の冬はとにかく寒かった記憶ばかりで、近頃は日中の日差しが暖かさがとても心地よく感じられております。診療報酬の改定率アップが決まり、マイナス改定という冬の終わりを告げてくれることを願っています。実際、蓋を開けてみると冬に逆戻りなんていう可能性も無きにしもあらずですが。

話は変わりますが、私はこの文章をパソコンで作っています。作りながら、パソコン(ワープロ)はなんて便利なんだと感じています。きれいで早くて間違いがないと3拍子揃っています。いや、まてよ、少なくとも早くは無いなあ。この文章を作るのにもかなりの時間がかかっている。そういえば、携帯でメールを打つより、手で書いた方がよっぽど早い。直接電話したらもっと早い。たしかにワープロで打つと誤字脱字のチェックも自動でやってくれるし、文章を枠に収めるのや印刷も簡単だ。便利だなあと思う。けどよく考えるとこれって前は印刷屋さんの業務内容だよなあ。結局、私のやる仕事が増えただけか、そりゃあ時間もかかるよなあと妙に納得しました。

子供の頃、将来はコンピューターや機械に全てをやってもらって、人間は何にも思っていない世の中がくると思っていた。しかし実際は、細かい設定や入力が必要だからかえって大変かもしれない。機械を使っただけか使われてんだかよくわからないと思いが、レセコンのエラー画面と格闘する日々です。

新政権の医療政策とは一

東北ブロック会議講演より

2月6日、仙台国際ホテルで第101回東北ブロック会議が行われ、当協会から佐藤常任理事と事務局長が参加しました。

日野秀逸先生（東北大学名誉教授）より、「新政権の医療政策について」というテーマでの講演がありました。

民主党が政権を取った変遷から述べられ、元々の民主党は、構造改革推進派（鳩山、菅、岡田、前原）が主体であり、「事業仕分け」などそれが表れている。

それに小沢グループが加わり、方針を180度転換した政権至上主義になった。さらに看板として、後ろ盾のない国民生活密着派（長妻、山井）が混在している。議員対策は、議員がどの勢力かを見極めて、批判と協力と対応を考える必要があると述べられました。

また、今後の医療については、憲法13条をベースとした医療にすべきであると述べ、その後の質疑で、社会保障をOECDトップ10の平均の水準にするなら、10兆円の上乗せ費用が必要。これくらいが、憲法に基づく、最低でも必要な医療予算である。財源は、世界でも例がないくらい低い国と企業の負担を引き上げればよい。EUでは、社会保障は「社会運営のための必要経費である」と明文化している。その方向性を見習うべきだと述べました。民主党は、社会

憲法第13条
【個人の尊重・幸福追求権・公共の福祉】
 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。



講演のようす

1月20日、北上市内のホテルで「高齢者の義歯とケア」を開催しました。講師には昨年の盛岡市での開催に引き続き東北大学大学院歯学研究所教授の濱田泰三先生をお招きしました。当日は、歯科医療関係者、看護・介護関係者50名の参加がありました。

本講演は株式会社デントブレイン、プラン株式会社、スミスクグラクソンの企画で、

講師の濱田泰三先生は、肺炎予防のためのブラシなどを用いた機械的な清掃と義歯洗浄剤などを用いた科学的な清掃を併用した義歯ケアの重要性を指摘し、衣類の洗濯に例え、汚れが沈着してから強い洗浄剤で洗浄するのではなく、弱い洗浄剤を用いた日々のケアが重要であると述べられました。一方、乾燥肌、ドライアイ、ドライマウスなど乾燥するというのがやむを得ない現代社会における義歯安定剤の重要性や、義歯安定剤が

義歯の不快はケア次第

—すべての人にお口の健康を—

ライオン株式会社の協賛で実現したものです。



学習会のようす

いますぐやめて！後期高齢者医療制度 学習会に80名参加

岩手県社会保険推進協議会（社保協）では、2月13日、盛岡市の国保会館にて「いますぐやめて！後期高齢者医療制度学習会」を開催しました。高齢者の方々が80名が参加しました。講師は、中央社保協事務局

岩手県社会保険推進協議会（社保協）では、2月13日、盛岡市の国保会館にて「いますぐやめて！後期高齢者医療制度学習会」を開催しました。高齢者の方々が80名が参加しました。講師は、中央社保協事務局



署名に応じる人々

後期高齢者医療の廃止を求めて

社保協では2月15日、盛岡市の亀が池前で後期高齢者医療の即時廃止などを求める街頭宣伝を行いました。当協会からは事務局1名が参加しました。社保協の村上和雄事務局長が道行く人々に署名の協力を訴え、約30分の行動で35筆寄せられました。

今後定期的に行っていく予定です。

患者にもたらす心理的効果や維持・安定効果などを講演されました。

今回の参加者全員には協賛のグラクソ・スミスクライン株式会社より、義歯洗浄剤「ポリデント」と義歯安定剤「ポリグリップ」がプレゼントされました。

参加した先生は熱心にメモを取り、「積極的に義歯安定剤を活用してみよう」など明日からの診療に役立てたいとの感想が寄せられました。

長谷川安孝氏がを行いました。

相野谷氏は、新政権のマニフェストには「後期高齢者医療制度の廃止」が掲げられ、有権者は新政権発足と同時に廃止されることを期待していた。しかし、廃止は4年後に先送りされ期待が裏切られた。

後期高齢者医療制度は高齢者の医療費を抑制するための制度であり、廃止が長引けば高齢者や国民の痛みも長引く、など制度の問題点を分かりやすく話し、即時に廃止すべきと強調しました。

そして、参議院で廃止法案を可決に追い込んだ運動を全国的に盛り上げていくことが必要であると述べました。

参加者からは「改めて後期高齢者医療制度の廃止を求め、気持ちが強まりました」などの感想が寄せられました。

岩手協会の「七七七」②

テーブル表ってなに？

この間、県外で暮し、知らず知らずのうちに役立っていた「昔取った杵柄」に気づきました。それは、病院・医院の看板を覚えることです。

方向音痴の私は、道を覚えるために、無意識に病院の看板を頼りに行動していました。

協会は任意での入会のため会員拡大は第一義的使命です。現職の事務局員も「会員拡大月間」では未入会の医療機関を訪問しています。私も地図を片手に医療機関を探して車を走らせたものです。

いつの間にか、別の用事で出かけた町でも医療機関の看板をチェックしていて、「職業病みたい」と苦笑したこともあります。それが、知らない町で暮すことになって、無意識のうちに役立っているのです。苦笑から微笑です。

「保険医年金」と「保険医休業保障」の二大共済の柱に加え昭和五十四年には低利の銀行融資の斡旋を開始し協会のセールスポイントも増えてきました。



会員500名達成達成を祝う

ある日、（仕事の指示は大概が、ある日突然なものです）

●「ねえ、実家に帰りたくない？」

●「もちろん、帰りたいです」

●「だったら、一週間の期間をあげるから、県北地域で十人拡大して。十人拡大したら、あとは休んでいいよ！」

■「ええ!?それって、早く拡大が終われば、お休みが長くなるという意味ですか？嬉しい！」

●「そうだよ」

と、話はまとまり、一歳に満たない息子と大量のオムツなど子育て用品一式を車に積んで、出かけました。

日中は実家の姉に息子を預けて医療機関の訪問です。

最初に訪問させて頂いたのは、小さい時にお世話になった故福田七朗先生です。熱を出した時によく往診して頂いた優しい先生です。名刺を差し上げる手もおぼつかないのですが「大きくなったね」という温かい眼差しで応対してくださいました。そこで、私も落ち着きを取り戻し「保険医年金の金利は高く、5年掛けると、年金の受給権も出て、解約も自由ですので定期積み立て的な制度です」と知っている限りの説明をしました。

そこに福田先生は「なかなか金利が良い。テーブル表でみると十三年で元金の二倍になりますね」と仰ったのです。

私は「はい」と返事はしたものの、「テーブル表って何？」「十三年で元金の二倍

は本当？」と頭は大混乱です。頼りは自分のみで、先生と会話をしながら、持参した保険医年金のパンフレットを一所懸命に速読し頭はフル回転。そして、テーブル表は試算表のことで、表の縦と横を照合したら、十三年で元金が二倍になっていることが分かりました。「先生の方が勉強されている」と汗びっしょりでした。でも、それは協会の宣伝物を読んでくださったというところで、嬉しくて元気になったものです。馬の鼻先に人參を掲げるように「実家に帰れる」という人參で始まった拡大の行脚は大変でした。十人の目標達成には予定通り一週間かかり、お休みどころではありません。

受付で「お待ち下さい」と応対されて、そのまま半日待つこともありました。いつ呼んで頂けるかもわからなく、お手洗いにいくタイミングもつかめず、ただじっと待つだけでした。やっと面談しても「協会は組織の屋上屋だ」と持論を展開される先生も居られました。意見・価値観は多種多様と心得ていても、車を止めて涙を拭いたことも思い出です。名刺を突き返される時も、でも協会への反応が分かり勉強になりました。

昭和五十五年には歯科部会が発会し、「歯科保険請求の手引き」の発行も始まりました。五十七年には医科・歯科ともに、五十九年には歯科単独で、組織伸び率全国第一位の表彰を保団連から受けました。

その年に会員数が五百名に到達しました。事務所で行われた祝賀会は手作りながら盛り上がりつつあります。



向かって右下が武内先生

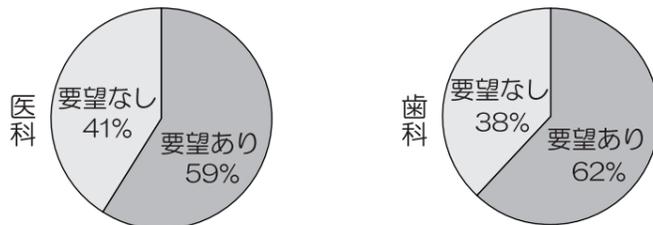
私は趣味で、お稽古事をしています。まず一つ目、謡は15年前からです。毎週火曜日13時頃の1時間、昼休みに抜け出して桜山神社に行きお稽古してきます。

女医さんのはなごころ

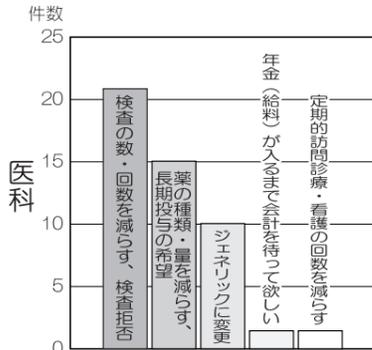
武内歯科医院 武内 公子先生

受診実態調査アンケート結果 ②

◆問3 最近、患者さんから経済的な理由で必要な診療内容を減らすよう要望されたことはありますか。



要望があった場合、どのような内容でしたか。



その他、交通費が大変、所持金内の診療を希望、前立腺癌の内分泌療法注射を中止が1件

歯科

痛いところだけ治療が4件、ブリッジ作成を断られた、ブリッジにしたいが、保険外なので、義歯で我慢する、大概は無断キャンセルで治療中止、治療の本数を減らして欲しい。応急処置だけでいい、保険で選択肢がある場合、負担金を確認の上、安い方を選択するケースが増えたなどがそれぞれ1件。

【受診抑制に関連して】(一部) (医科)

1. 長期投薬が増えていて、患者側からの希望が増えた気がします。
2. 診療の中断があっても把握できない。財布を忘れたとか、急患で来られて後日払いに出来ない(催促しても)。医療機関は小泉政権以来、減収を強いられ疲弊している事を政府は認識しているのだろうか！
3. 3割負担は保険になっていない。早期に引き下げるべきだと思います。
4. 症状がある時だけ来院し、平素のリスクファクター管理はおざなりになり易い傾向が一般的に蔓延しがち？検査を勧めると嫌な顔をする方が増えた(費用負担が理由?)。
5. 定職のない患者が増えている。職業欄に派遣社員と書くなど。自営業の人は収入がガタ減り、国保税を納めるのも大変と言っている。

(歯科)

1. 歯科治療の途中で中断する人が多い。痛い箇所が治ればそれで終わり、重症化のおそれあり。
2. 患者負担を助成金のシステムで補うのではなく、負担割合の軽減でフリーアクセスを図るべきと考える。
3. 他の国々と比較して医療費云々はもう飽きたというか、説得力がないという事がわかってきた。医療だって需要と供給の関係で価格・料金が決まるのは仕方ない。供給を多くする政策を望む。
4. 歯科の場合は、医科の慢性疾患と違って、区切りがある程度あるので、必要性を理解してもらえば、分ってくれる。受診を中断する・される前に、接点を見つけて診療方針を立てるようにしています。(これ大事！)
5. 皆さん、かなりガマンしていて、いよいよ悪くなってから、来院されるケースが多いと思います。景気がよくなると、あらゆる方面で、消極的な連鎖が続くと思われるので、政治の役割が大切だと思われれます。

私の趣味

たむぎな姿勢に感動いたしました。師のお稽古は1〜2カ月に一度ですが、それとは別で毎週のお稽古では、先輩の指導のもとに仕事以上に励んでおります(笑) 謡は腹式呼吸で謡うため、たった一時間でも心地よい疲労を感じます。

はピッタリはまりました。また、お仲間もとても良い方々ばかりで、普通の女性の集まりとは雰囲気異にしております(笑) 早く仕事をやめて謡三昧したいなどと考えるほどです。他には「鼓」と「書道」を少々です。古来日本には「道」



鼓の発表会(左から2番目が武内先生)

のつくお稽古事(?)が多いですが、内田樹はその著書「日本辺境論」の中で、「道」という概念は実は「成就」という概念とはうまく整合するものではなく、諦観と表裏一体のものであると言っています。が、成就にむけてまい進するおバカな私です。

理事会だより 1月

- 【日時】 2010年1月12日(火) 19:30〜21:20
- 【場所】 フコク生命ビル会議室
- 【出席者】 役員、事務局併せて20名
- 1、2009年度第2回理事会議事要録が承認された
- 2、2009年度12月期活動報告並びに2010年1〜2月期活動計画について承認された
- 3、月次会計報告について承認された
- 4、保団連大会について①組織討議依頼事項、②大会方針案が承認された
- 5、事務局員への慶弔規程対応について承認された

よろずくうかん 世論事空間

■薬の分量「×3」は駄目 処方せん記載を明確化

厚生労働省の検討会は、内服薬を処方する際、分量を誤るなどのミスが後を絶たないことから、処方せんの記載単位を「1回当たり」に統一し、服用回数も「×3」などではなく、「1日3回、朝昼夕食後」などと明確に記すよう定めた基準を公表した。

- (1) 薬の名前は、有効成分物質ではなく製剤名を記す
- (2) 分量の単位は「1日量」ではなく「1回量」が基本
- (3) 服用回数は「1日3回」の場合、「×3」「3×」「分3」などの表現ではなく明確に記す一と基準を示している。

現場の混乱を避けるため、移行期間は「1日量」と「1回量」の併記を認めるという。また、パソコン入力によるシステムを使う際、メーカーによらず記載内容が統一されるよう、システム開発会社など業界団体にも協力を求める。

共同通信より

★今まで統一しなかったのはなぜ? 記載方法は厚労省が指導していたものではなかったのか?

リスク管理に対する、考え方が不足していた。最も起こりうるのはヒューマンエラーであり、リスクマネジメントの専門家が厚労省内部にはいないのだろうか。

1回量と1日量に関しては、統一された記載の方が混乱が減ってよいと思うが、×3等の略称がダメになると手書きの先生は大変かと思う。

処方箋内容が患者さんにもわかるようになるのは、情

報公開や患者さん自身のチェックが可能という面からも良いと思われるが、近年話題に上るモンスターペイシャントなどの苦情やトラブルが増えることも予想される。医院サイドもうまく対応できるように準備が必要であろう。

■中年 増える摂食障害

拒食症や過食症などの「摂食障害」は、若い女性の病気というイメージがあるが、中年でもこの病気に苦しむ人が少なくないことが分かってきた。

横浜市にある通所施設には10人の女性通っているが、8人が30歳代以上で、最高齢は66歳。48歳の女性は18歳から拒食と過食を繰り返して、11年前に長男が生まれてからは、育児やママ友との人間関係のストレスから、症状が悪化することもあったという。

摂食障害の自助グループ「日本アノレキシア・ブリアマ協会」(東京都)代表は「摂食障害の背景には、ありのままの自分を受け入れられない自己否定がある場合が多い。症状が治まってもその根っこが未解決ならば、新たな困難にぶつかった時に再び発症してしまう」と話す。

読売新聞より

★テレビでもずいぶんダイエット番組が増えた気がする。

番組内容もダイエット後は別人かのようにきれいに撮影され、現実の生活も全てがうまくいくようになったと放送される。まるで、太っているのが罪のようだ。ただでさえ現実の社会はうまくいかないことばかりなので、外見が悪いことに原因を求めてしまう気持ちもわかる。

自己イメージが良好でないために起きる。現代は自分を好きになることができない人が多いと感じる。ピアカウンセリングは摂食障害には有効な手段だと思う。自己イメージを明確にしていくことを行い、そのための支援が必要。

★広報部コメント

医科新点数説明会・歯科点数検討会のご案内

《医科》

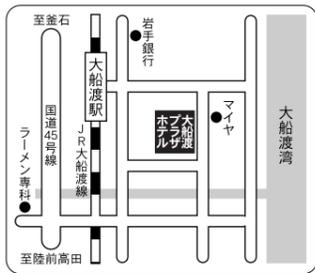
参加費	無料 (何名でも参加できます)	テキスト代	1冊 1,000円
-----	--------------------	-------	-----------

※今回は外来のみ行います。入院については、盛岡市の会場で行います。

大船渡会場 (駐車場有)

【日時】 3月23日(火) 18:30~20:30

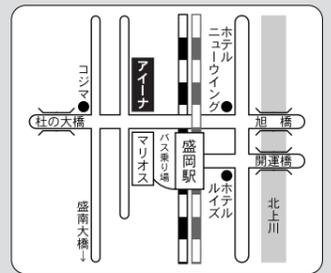
【場所】 大船渡プラザホテル
2階 飛翔の間
大船渡市大船渡町茶屋前134-5
TEL 0192-26-3131



盛岡会場 (有料駐車場有)

【日時】 3月27日(土) 14:00~16:00
入院 16:15~17:15

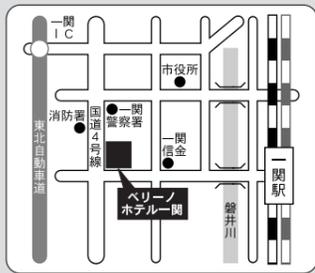
【場所】 アイーナ 8階会議室804
盛岡市盛岡駅西通1-7-1
TEL 019-606-1717



一関会場 (無料駐車場数に限り有)

【日時】 3月24日(水) 18:30~20:30

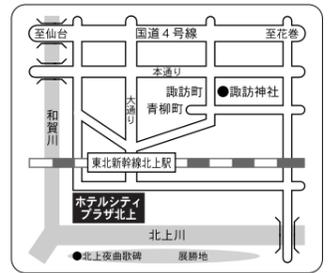
【場所】 ベリーノホテル一関
2階 扇の間
一関市山目字三反田179
TEL 0191-23-1000



北上会場 (無料駐車場数に限り有)

【日時】 3月29日(月) 18:30~20:30

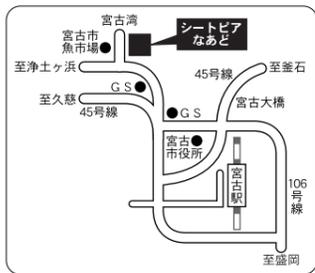
【場所】 ホテルシティプラザ北上
3階 瑞雲の間
北上市川岸1-14-1
TEL 0197-64-0001



宮古会場 (無料駐車場数に限り有)

【日時】 3月26日(金) 18:30~20:30

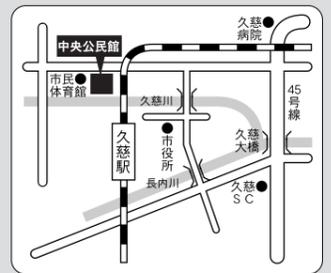
【場所】 シートピアなあと
2階 研修室
宮古市臨港通1-20
TEL 0193-71-3100



久慈会場 (駐車場有)

【日時】 3月30日(火) 18:30~20:30

【場所】 中央公民館 3階 研修室
久慈市新中の橋5-28-4
TEL 0194-53-4606



《歯科》

参加費	会員本人無料	スタッフ1名につき 1,000円(テキスト代実費)
-----	--------	------------------------------

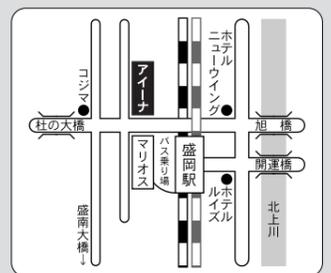
※会員の先生お1人につき1冊、テキストを事前に送付致しますので、忘れずにご持参下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

※会員の先生が不参加で、会員の先生の代理としてスタッフの方お1人がテキスト持参でご参加される際は無料です。

盛岡会場 (有料駐車場有)

【日時】 3月27日(土) 19:00~21:00

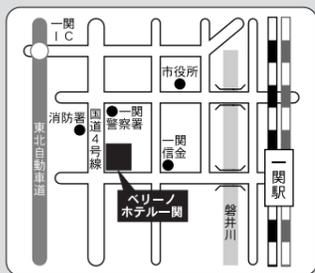
【場所】 アイーナ 8階会議室804
盛岡市盛岡駅西通1-7-1
TEL 019-606-1717



一関会場 (無料駐車場数に限り有)

【日時】 3月24日(水) 19:30~21:30

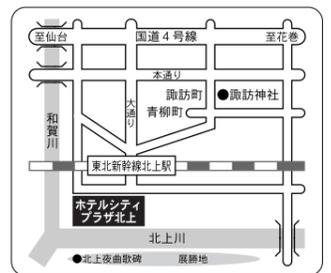
【場所】 ベリーノホテル一関
2階 東の間
一関市山目字三反田179
TEL 0191-23-1000



北上会場 (無料駐車場数に限り有)

【日時】 3月29日(月) 19:30~21:30

【場所】 ホテルシティプラザ北上
3階 薫風の間
北上市川岸1-14-1
TEL 0197-64-0001

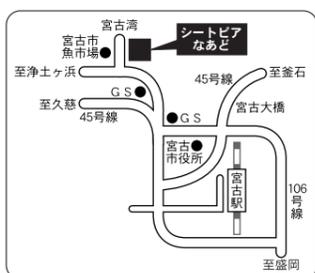


宮古会場 (無料駐車場数に限り有)

DVD上映による検討会になります。質疑応答には役員が対応致します。

【日時】 3月25日(木) 19:00~21:00

【場所】 シートピアなあと 2階 研修室
宮古市臨港通1-20 TEL 0193-71-3100



二戸会場 (無料駐車場数に限り有)

【日時】 3月30日(火) 19:00~21:00

【場所】 二戸市総合福祉センター
2階 研修室
二戸市福岡字八幡下11-1
TEL 0195-23-1313

